

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスえくぼ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		～ 令和 8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 12日		～ 令和 8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち全員が楽しみに来ていただいている。	子どもたちが「やりたい」こと、気持ちを大切にしながら施設運用をしています。子どもたちが「自分の居場所、好きな場所」でこそ、最大限の成長の可能性を見出すことができると考え、たくさんの対話や、子どもたちからの「声」、「表情」を見逃さないように気を付けています。	新年度から、1日あたりの利用人数が増える予定です。今まで出来ていたことができなくなる可能性もありますが、創意工夫を重ねるとともに、子どもたちと一緒に職員が成長していけるように、打ち合わせの内容・密度の充実を図ります。
2	子ども一人ひとりに応じた支援を心掛けている。	子どもたちは、日々成長し、日ごとに様子が異なっています。固定観念にとらわれたり、過去に影響を受けすぎないように対応を心掛けています。	子どもたちの「やりたいこと」を効果的に収集できる方法の検討をしています。
3	子どもたちが「やりたい」ことを重視し、職員の強みを最大限に生かした支援の場を心掛けている。	事業所には、異なる経験、年齢、性別の方に支援に携わっていただいています。社会は様々な人とのかかわりで成り立っているため、そのミニマムな社会を子どもたちに経験してもらえようとしています。そんな中で、各職員が自分の強みを見せることで、子どもたちにも「自分の強み」に気づいてほしいと考えています。	職員間の「共通認識」をさらに丁寧に行い、一定のところまでは、「共通の支援方針」を基本として、支援の自由度は落とさないようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携があまりできていない	地域との連携においては、外出企画などで、様々な子ども同士のかかわりは持っていただいています。しかし、事業所が「何をしているのか」ということに関しては、地域に発信できていません。	放課後等デイサービスによっては、近隣の方に向けてバザーを企画されているところもあるようです。当事業所が地域に受け入れられる発信については、ご家族の意見も伺いながら検討していきます。
2	ご家族に対して、各マニュアルの周知ができていない	マニュアルは完備しています。契約時に各種マニュアルの説明と、意図はお伝えしていますが、実際のマニュアルを見れる機会がないことが課題です。	家族会などでの閲覧の機会を検討します。
3	外部評価を受けていない	外部評価を受けていないため、第三者の意見などが入りにくいところが課題です。	外部研修への参加や、同法人内の放課後等デイサービス事業所職員のアドバイスなどをもらいながら、固定化を避けるようにしていくことから始めていきます。